

報道関係各位

プレスリリース

2024年8月7日
株式会社 Liberaware

委託費最大約 3,000 万円の トライアングルエヒメ推進事業「デジタル実装加速化プロジェクト」に採択

株式会社 Liberaware（千葉県千葉市、代表取締役 関 弘圭、以下「当社」）は、愛媛県デジタル実装加速化プロジェクト「トライアングルエヒメ」に採択されました。これにより、愛媛県内におけるインフラ・プラント維持管理 DX の実装を加速させ、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを開始いたします。



■プロジェクト概要

本プロジェクトの目的は、愛媛県内のインフラ・プラント維持管理 DX の実装を通じて、持続可能な社会の構築を目指すことです。さらに、災害時にも対応可能な体制を整えることで、地域の安全と安心を確保します。

- ・実施期間：令和 6 年 7 月 9 日～令和 7 年 3 月 31 日（予定）
- ・事業目的：県内外の企業が持つデジタルソリューションと関連技術を県内の事業者や自治体に実装し、稼ぐ力の向上やデジタル人材の育成など地域課題の解決に挑戦する。
- ・事業名：トライアングルエヒメ推進事業 「デジタル実装加速化プロジェクト」
- ・WEB サイト：<https://dx-ehime.jp>（令和 4・5 年度の実装検証レポートを公式 HP に掲載。）

■プロジェクトの主な特徴

- 1) 愛媛県内を実装フィールドとした企画提案を募集
- 2) 採択事業に 1,000 万円～3,000 万円程度/件の委託費
- 3) 実装先や顧客候補の開拓支援、事業開発に関する様々なナレッジ提供や定期的なメンタリングなど愛媛県と事務局による事業開発推進のサポート

■当社取り組み内容

本プロジェクトでは、当社が開発した屋内点検ドローン「IBIS2」をはじめ、屋外ドローンや各種ロボットを活用した設備等の維持管理 DX ソリューションを提供できる人材を育成します。また、電力会社の発電所や他の製造工場において、ドローン等を用いた点検やデータ処理等 DX ソリューションの有効性を検証し、技術および事業開発を進めます。さらに、愛媛県内の製造業の設備および自治体が管理する各種インフラ設備への実装を目指し、災害時にも対応できる体制構築を目指します。

本プロジェクトの出口戦略として、主に3つの自社サービスを民間や自治体に実装していきます。

1. ドローンおよび各種ロボットを活用した点検サービス
2. データ処理・解析サービス
3. 動画から3D点群を作成・管理できるデジタルツインソフトウェア「TRANCITY」

本件は当社の成長戦略に沿った自治体との連携強化の一環として位置づけており、今後も愛媛県をはじめとした各自治体と更なる連携を進めてまいります。なお、本件による当社業績への影響は軽微です。

■「トライアングルエヒメ」について

「トライアングルエヒメ」は、愛媛県が推進するデジタル実装加速化プロジェクトです。本プロジェクトは、地域のデジタルトランスフォーメーション（DX）を促進し、持続可能な社会の実現を目指しています。愛媛県内の企業や自治体が協力し、最新のデジタル技術を活用して地域の課題解決に取り組むことで、地域経済の活性化と住民の生活の質向上を図ります。

■株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会社名 : 株式会社 Liberaware (リベラウェア)

代表者 : 関弘圭 (ミン・ホンキュ)

所在地 : 千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設立 : 2016年8月22日

事業内容 : ・産業分野に特化した非GPS型小型ドローンの開発

- ・IoT技術・人工知能を活用したシステム開発
- ・小型ドローン「IBIS」を活用した点検・測量ソリューションサービス
- ・小型ドローン「IBIS」の販売・レンタルサービス
- ・映像加工・編集サービス（距離計測、異常検知等）

URL : <https://liberaware.co.jp/>